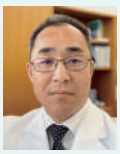
呼吸器外科
Thoracic Surgery

外来受付
2 階 12 番　　TEL.（06）6645-2351
午前８時４５分～午後４時４５分 [平日]
[初診：月～金 / 午前９時～午前１０時３０分]

詳細はこちら

診療科部長、教授
そう　じゅんいち
宗　淳一



専門
呼吸器外科、ロボット支援下手術

スタッフ

副
みずぐち　しんじろう
准教授　**水口　真二郎**
【専門】呼吸器外科、ロボット支援下手術

いのうえ　ひでとし
講師　**井上　英俊**
【専門】呼吸器外科、ロボット支援下手術

はら　かんたろう
病院講師　**原　幹太朗**
【専門】呼吸器外科、ロボット支援下手術

診療科の特徴

肺がん手術をはじめとする呼吸器外科手術は、全国的に年々増加しており、患者さんの負担が少なく安全性の高い手術へのニーズが高まっています。

当科では、多彩な呼吸器疾患を対象とし、一般的な呼吸器外科診療に加えて、大学病院の特性を生かした手術療法を提供しています。特に近年注目されているロボット支援下手術は、昨年比 1.7 倍となる 142 例を安全に実施しております。また、全呼吸器外科手術の約 90%をロボット支援下手術を含む胸腔鏡手術が占めており、低侵襲で術後の早期回復に配慮した治療を行っています。

一方で、大学病院として一般病院では対応が困難な高度医療を担うことも重要な役割と考えています。進行がんに対しては、治療成績の向上を目的として、多診療科の連携のもと、術前・術後の全身治療を組み合わせた集学的治療を提供しています。さらに、難易度の高い拡大手術についても、多職種と連携し、安全性に十分配慮しながら積極的に実施しています。

昨年は過去最多となる 370 名以上の患者さんに手術を行いました。患者さんが早期に健康を回復できるよう、術前から退院後まで一貫したサポート体制を整えています。

これらの取り組みを通じて、個々の患者さんに最適な呼吸器外科診療の提供に努めています。

対象疾患

[主力疾患]
原発性肺がん、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍（特に胸腺腫瘍）に対する外科治療を主としています。呼吸器内科や放射線科と連携し、定期的な合同カンファレンス（Cancer Board）を通じて、個々の患者さんに最適な治療方針を決定しています。進行がんに対しては、根治性の追求と機能温存の両立を目指し、気管支形成術、血管形成術、他臓器合併切除などの高度手術を、必要に応じて他診療科と連携しながら安全に実施しています。

[対応可能な疾患]
主力疾患に加え、幅広い胸部疾患に対する手術療法を行っています。具体的には、気胸、膿胸、胸部発生の原発不明がん、サルコイドーシス、気管・気管支腫瘍、胸膜・胸壁腫瘍、横隔膜疾患、炎症性肺疾患などに対応しています。また、診断目的として外科的生検（組織採取）も適宜実施しています。悪性胸膜中皮腫に対する根治手術についても、症例を選択した上で行っています。

主な診療実績

【疾患別】

全呼吸器外科手術	374 件
原発性肺がん手術	211 件
肺葉切除（2 肺葉切除含む）	104 件
区域切除	70 件
肺全摘術	1 件
部分切除	36 件
転移性肺腫瘍	46 件
縦隔腫瘍	31 件
気胸	16 件
その他	70 件

【術式別】

ロボット支援下手術	142 件
気管支形成術	3 件

ご紹介時のお願い

初診予約は診療情報提供書（診察予約申込書）に必要事項をご記入の上、地域医療連絡室へ FAX にてお申込みください。